

# 歴史紀行

シリーズ「お城拝見!」第81回

かしわがじょう あまごいじょう

## 柏ヶ城・雨乞城

《吉田町上入江》



安芸高田市教育委員会  
文化財係専門員  
秋本 哲治

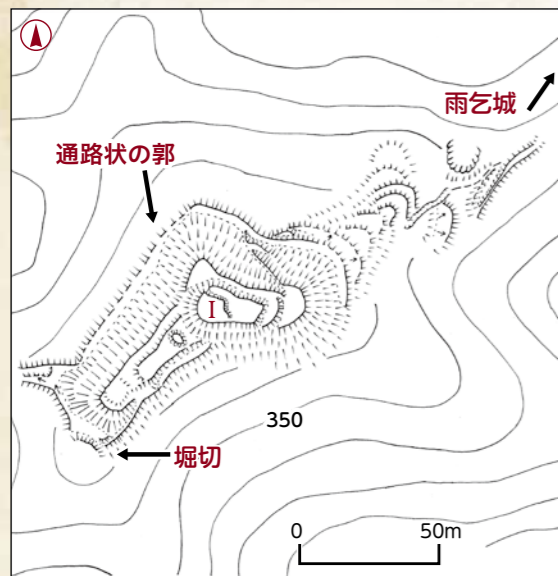
### 謎の入江城

昨秋の「安芸宍戸氏」展でも紹介しましたが、文明3年(一四七二)に入江保(中世に入江にあった荘園)の代官職をめぐり、毛利豊元(元就の祖父)が宍戸持朝方の「入江城」を攻め落としましたことが、『毛利家文書』にあります。それ以前にも、長年毛利氏・馬越

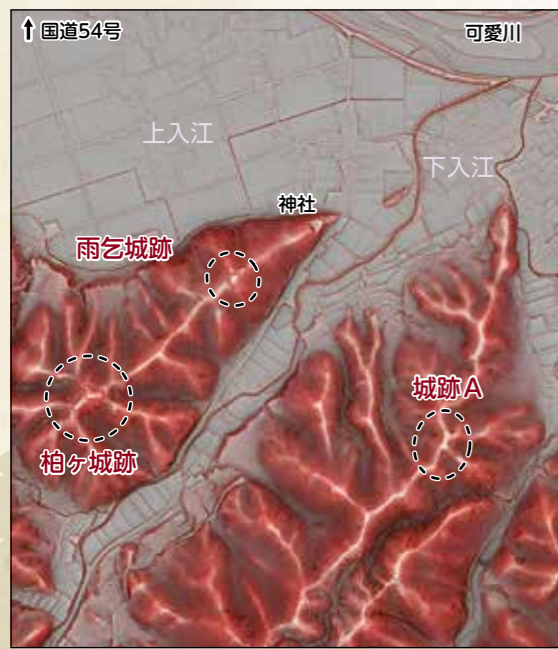
**登城ガイド**  
・標高……381m  
・比高……170m  
・使用者……毛利氏・馬越氏・宍戸氏?  
・所要時間……山麓の獅子頭神社から約40分

氏(武田氏配下)・宍戸氏によって争奪が繰り返された入江城の位置は不明です。現在吉田町上入江地区には「雨乞城跡」と「柏ヶ城跡」が存在し、さらに航空レーザー測量図から城跡を探すと、雨乞城・柏ヶ城以外にも城跡と思われる地形が存在します(図中城跡Aなど)。これらのいずれかが入江城であった可能性がありますが、最も大規模で有力な候補地が柏ヶ城です。

**城跡**  
柏ヶ城は山頂の郭Iを中心に、尾根上に多数の郭と南西部に堀切が残ります。城の正面は北東の尾根側で、Iの北側には細い通路状の郭が巡ります。全体的にやや不明瞭で起伏のある小さな郭が多く、石積や土塁は見られません。  
**考察**  
近世の記録では柏村氏の城とありますが、尾根先端には中世から八幡宮が存在しており、周囲を見下ろす立地のよさと、合戦に耐えうる規模や遺構の状況から、ここが室町期の入江城であったとしても不思議はありません。また、中腹の雨乞城も柏ヶ城の出城として機能していたと考えられます。



柏ヶ城跡略測図(作図 秋本哲治)



周辺の航空レーザー測量図

使用者からの料金等をもとに運営している上水道・下水道。その現状と、料金適正化に向けての審議会の内容などをシリーズでご紹介します。

## 上水道・下水道の

### 上下水道料金改定

平成31年2月請求分から  
新料金に変わります

#### 《主な改定ポイント》

##### ●水道事業

- ・一般用と業務用の用途別料金を廃止し、料金体系を一本化。
- ・基本料金をメーターの口径別基本料金に変更。
- ・基本料金(メーター使用料含む)改定率を12.5%増とし、超過料金は8%増とする。

##### ●下水道(公共下水、特環下水道、農業集落排水、浄化槽、コミュニティプラント)

- ・基本使用料の水量を10m<sup>3</sup>→8m<sup>3</sup>に変更。
- ・基本使用料の改定率を5%増とし、超過使用料を段階ごとに5円UPする。

新しい料金表は、「広報あきたかた」平成30年12月号と市ホームページへ掲載しています。

どうして料金を  
変えないと  
いけないの?



上下水道の会計は、料金収入だけでは賄えず、税金などの一般会計から不足分を補填して運営をしています。水道・下水道の会計を料金だけで賄うには、料金を今の2倍にしないと解消できません。

経営を  
改善することで  
賄えないの?



これまで、人員削減や外部委託など様々な経営改善への取り組みを行ってきましたが、今後も、水道・下水道の施設を将来にわたって維持・運営をしていくためには、料金の改定が必要となります。

どのくらい  
値段が  
変わるの?



「安芸高田市上下水道料金審議会」により、審議をいただき、平成30年4月20日に答申を受けました。答申の内容は、上下水道ともに全体の改定率20%値上げでしたが、答申は尊重しつつも激変緩和措置として10%改定の方針とし、9月議会へ上程し可決されました。

これまで行ってきた行財政改革をより進めていくことで、引き続き財政健全化に向けて取り組んでいきます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

問上下水道課 業務係 ☎ お太助フォン 47-1203 📠 47-1206

今、そしてこれから



vol. 11

